

【令和3年12月7日訂正】

P11 R2 区・合計特殊出生率を1.04から1.09へ訂正

資料 5

令和3年度 第1回 練馬区区政改革推進会議

区の現状と課題（人口動向）

令和3年10月13日

練馬区企画部企画課

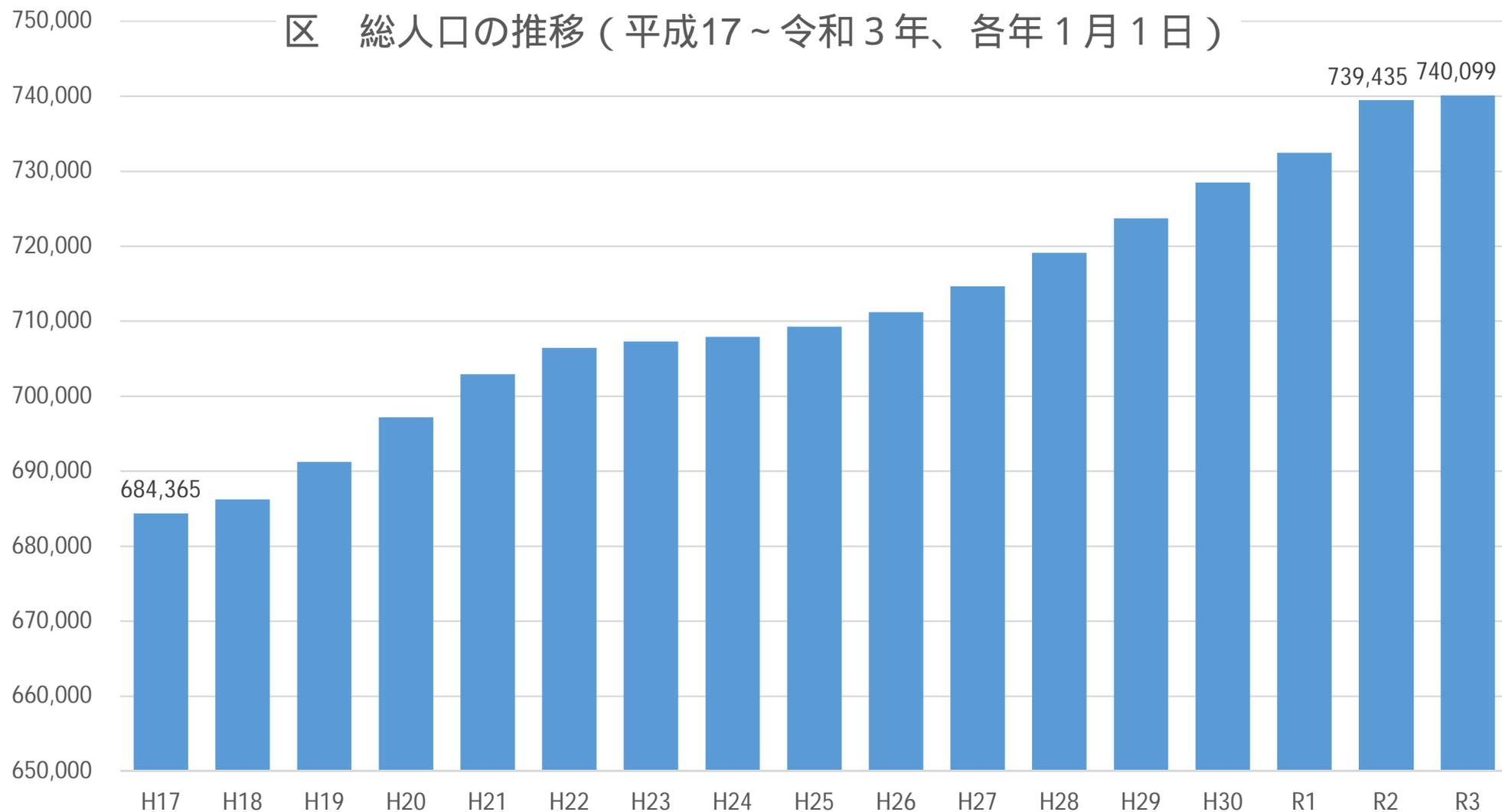
- 1 これまでの区の人口の推移
- 2 コロナ禍前の動向
- 3 コロナ禍の動向分析

1 これまでの区の人口の推移

各ページのタイトル行の着色の使い分けについて
区の動向について説明しているページ：**緑色**
区以外（国・都）の動向について説明しているページ：**青色**

1 これまでの区の人口の推移

- ・ 区の人口は一貫して増加傾向にある（平成17年の約68万人から15年間で約55,000人増）



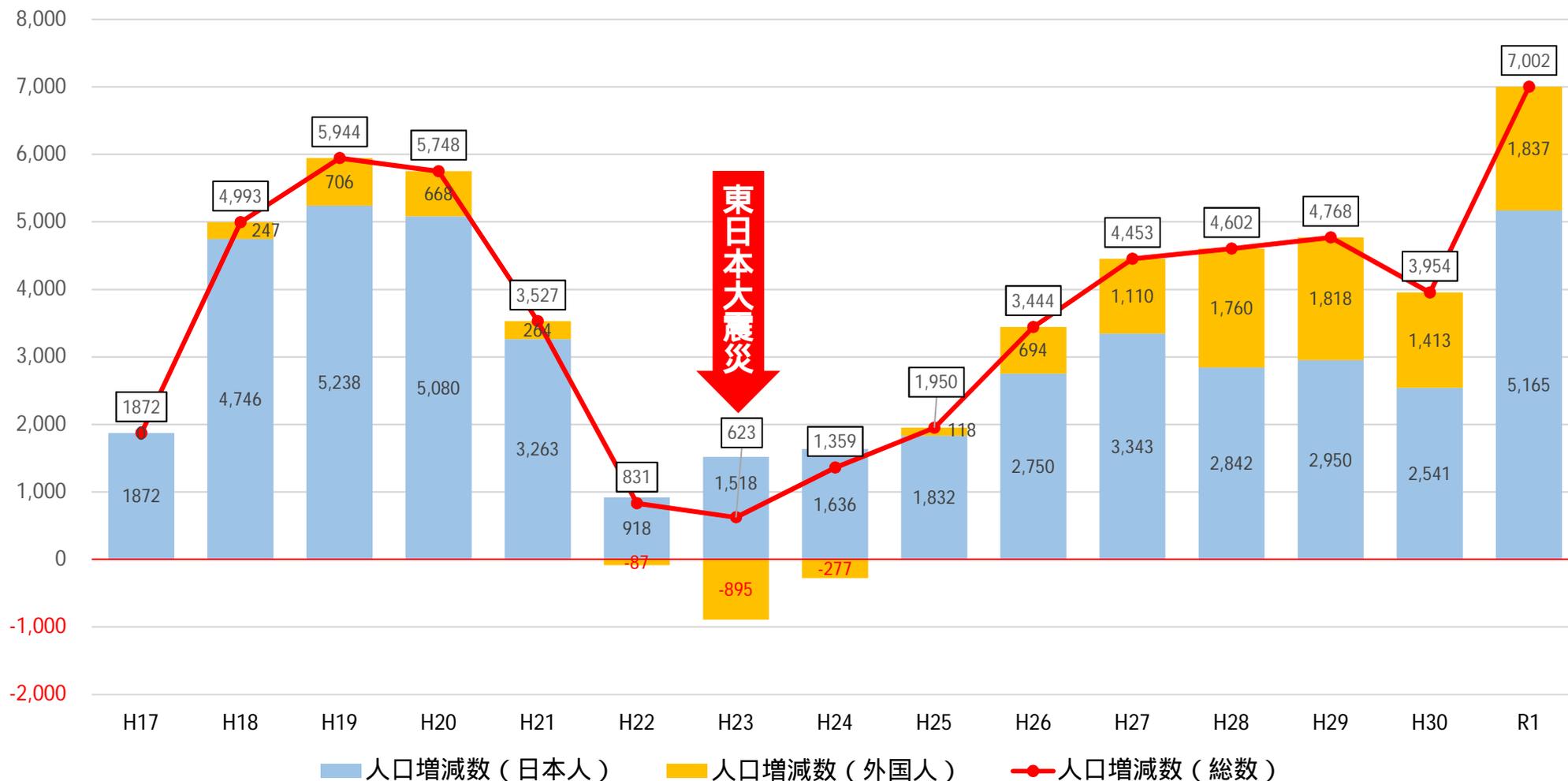
【出典】練馬区「住民基本台帳による人口」

2 コロナ禍前の動向

2 コロナ禍前の動向 区の人口増減の内訳推移

- 日本人は一貫して増加傾向。外国人も近年は年間1,000人を超える増が続いていた。

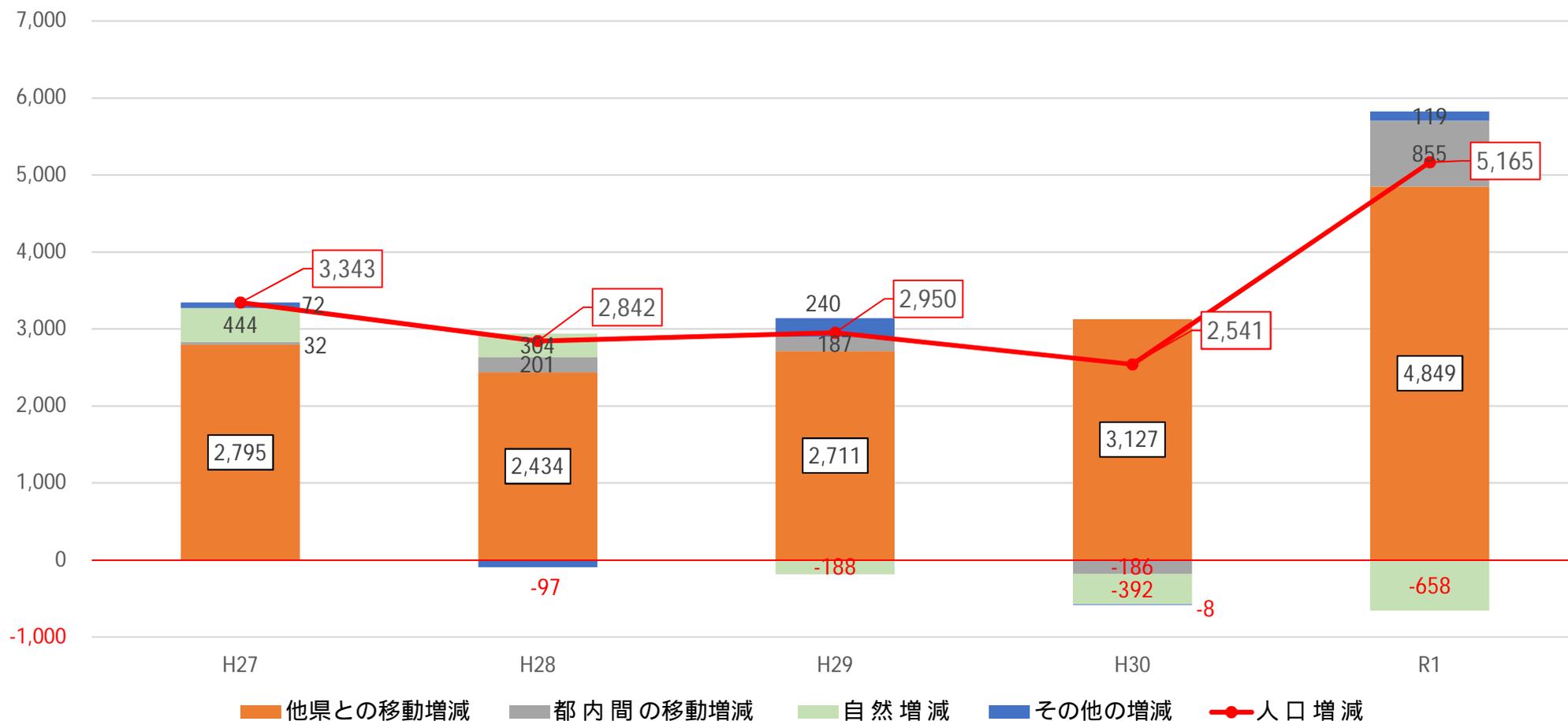
区 年間の人口増減数（日本人、外国人別、各年1月1日時点の人口間で比較）



2 コロナ禍前の動向 区の日本人の人口増の要因

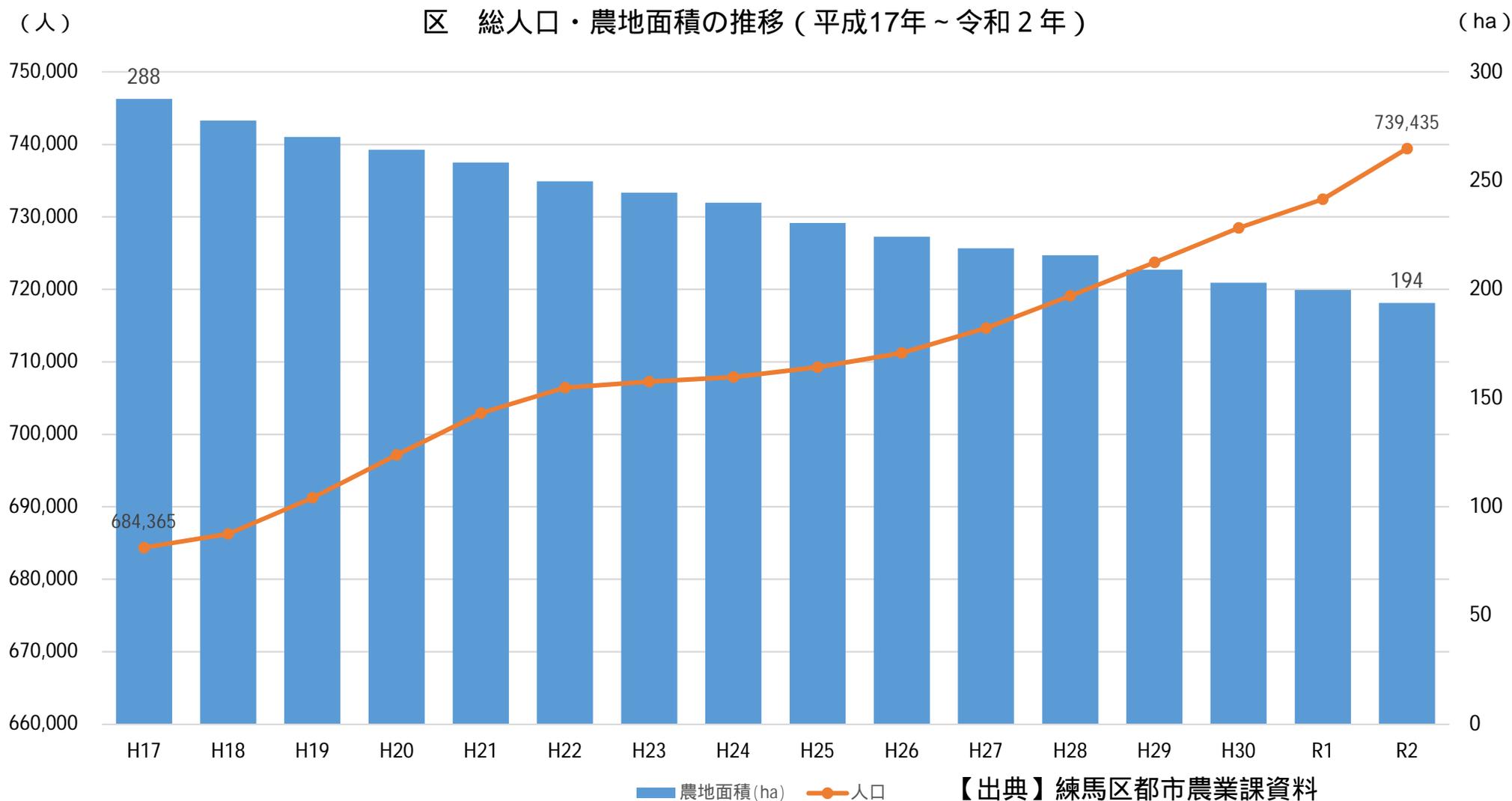
- ・ 自然動態（緑）は平成29年から自然減になっているが、社会増で人口が増加している。
- ・ 特に他県からの転入（オレンジ）が増加している。

区（日本人）の人口増減の要因別推移



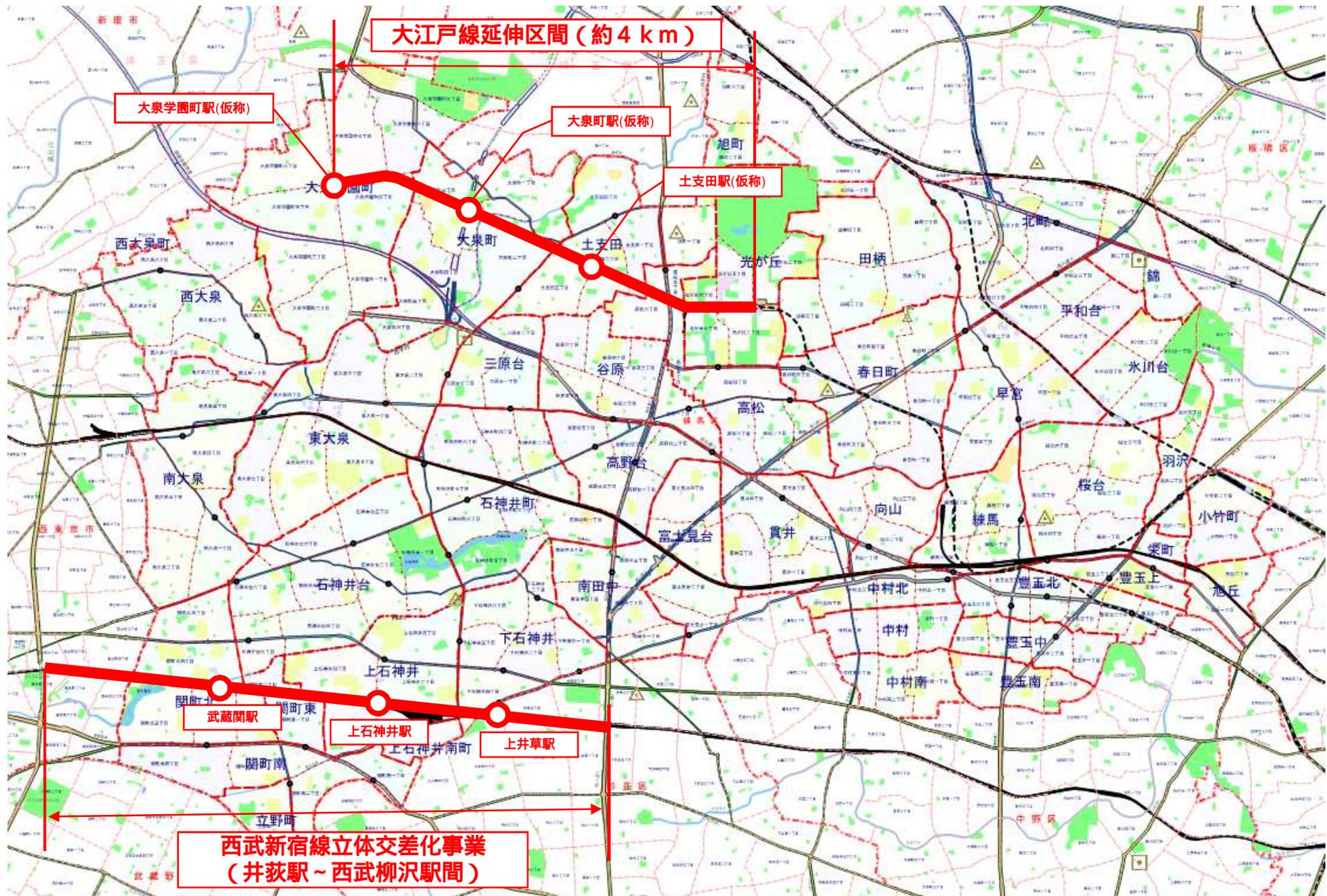
2 コロナ禍前の動向 人口増と区内農地面積の関連

- ・区内の農地が所有者の相続時等に宅地化されている。それに伴い、人口が増加している。



【出典】練馬区都市農業課資料
練馬区「住民基本台帳による人口」

2 コロナ禍前の動向 区内で予定している主要な都市インフラ整備

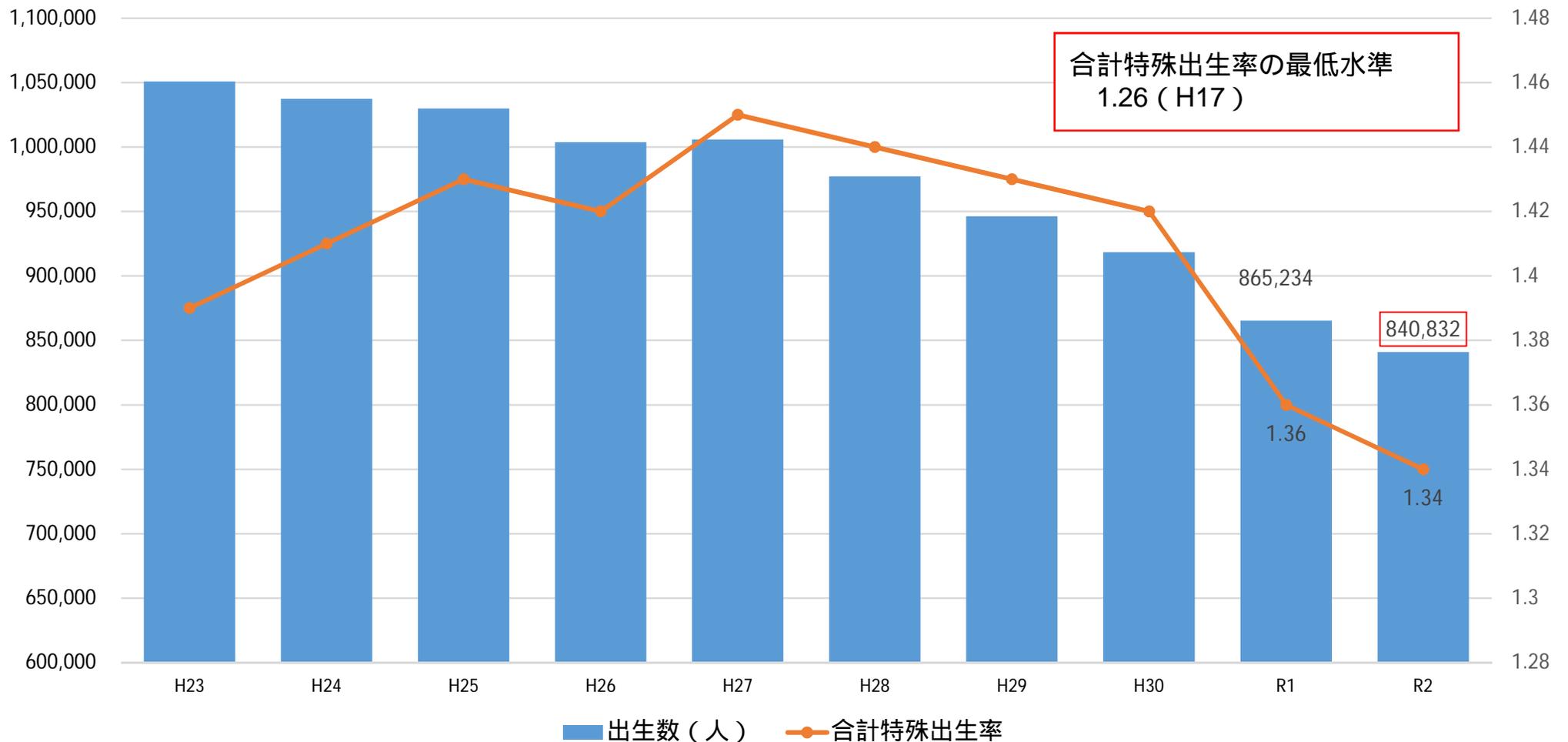


3 コロナ禍の動向分析

3 コロナ禍の動向分析 自然動態（日本全体の動向）

- ・ コロナ禍で日本全体の出生数は**過去最低**を更新。

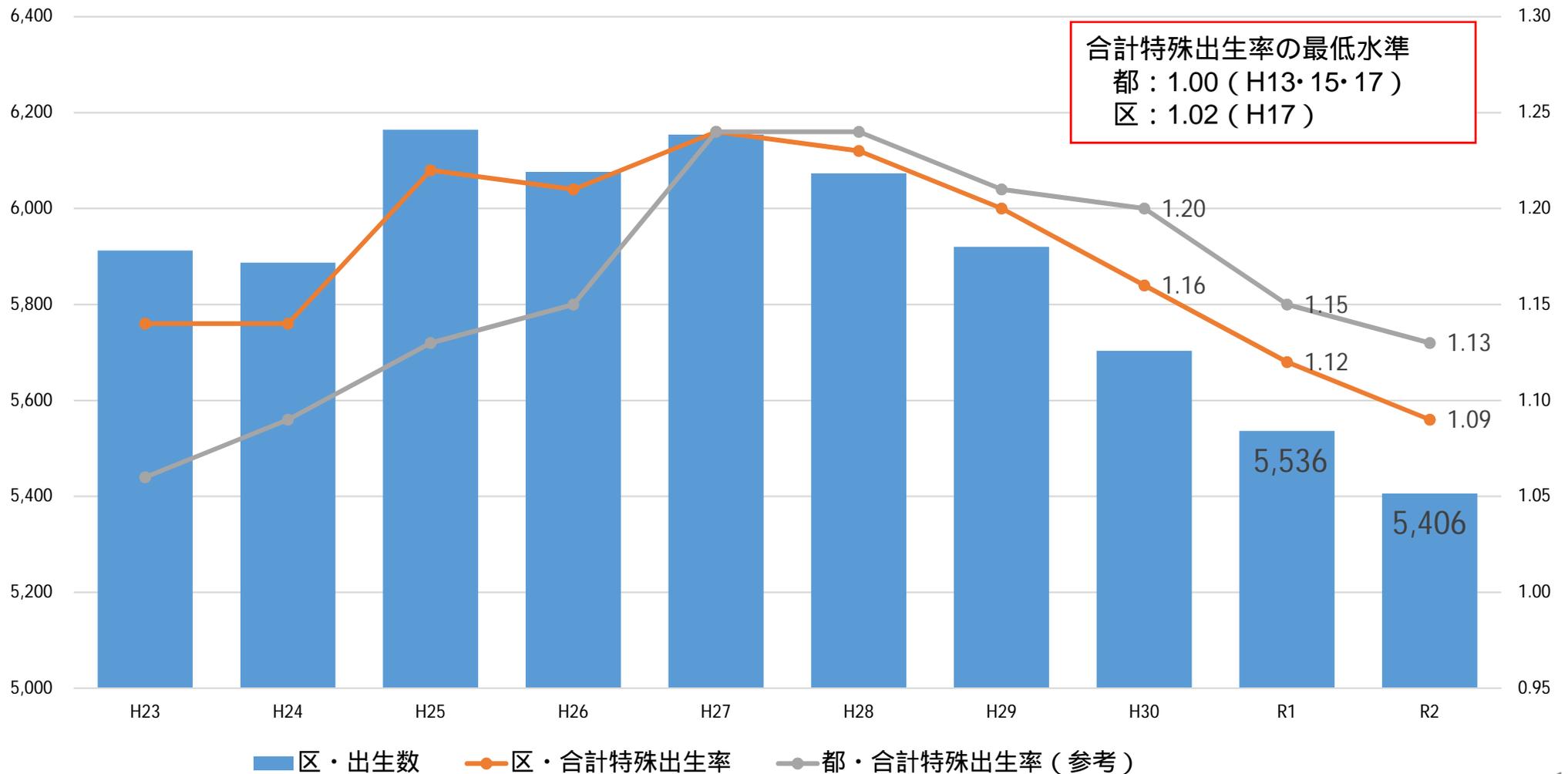
日本 出生数・合計特殊出生率の推移



3 コロナ禍の動向分析 自然動態（区の動向）

・コロナ禍で区の出生数も減少。合計特殊出生率も減少幅が拡大。

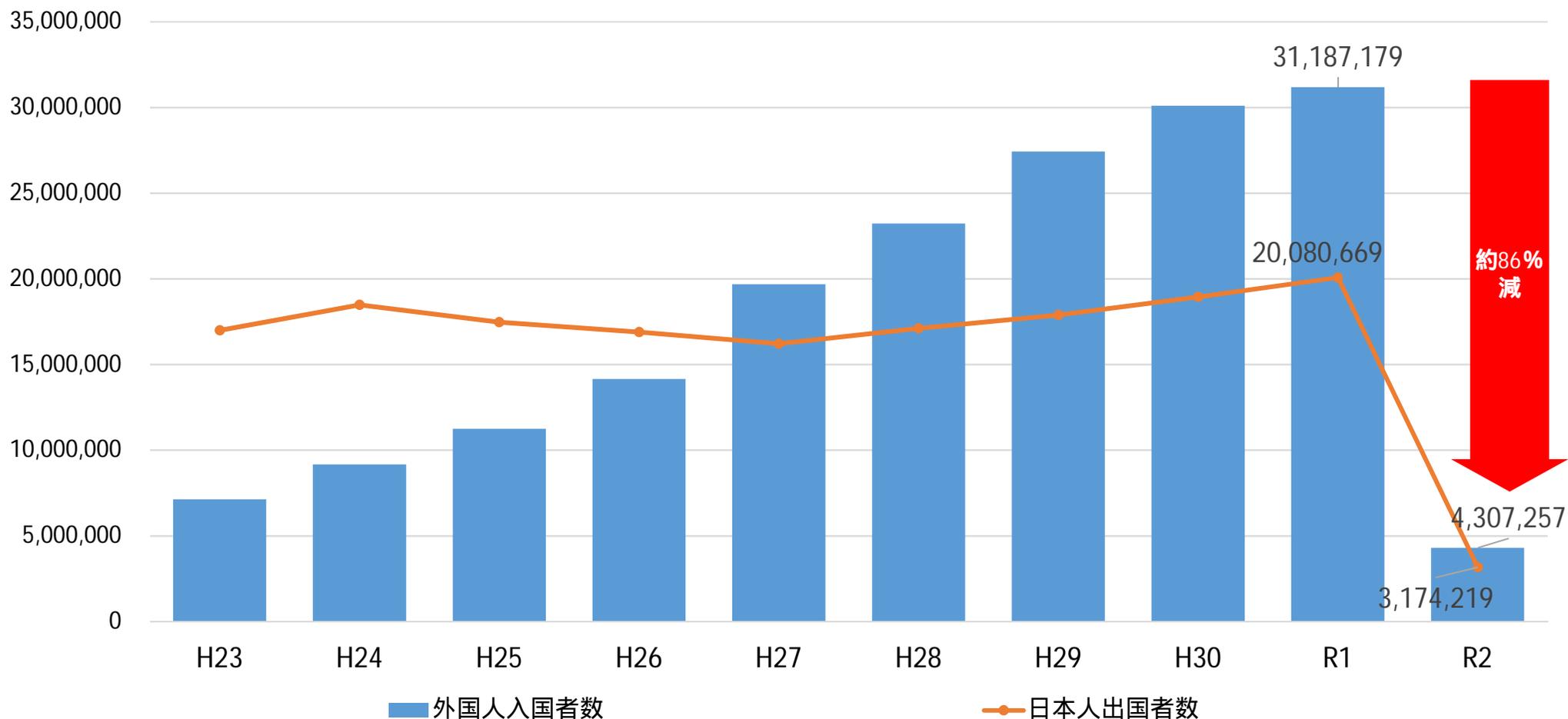
区 出生数・合計特殊出生率の推移



3 コロナ禍の動向分析 日本全体の外国人入国者数

- ・コロナ禍で海外からの外国人入国者数は激減している。

外国人入国者数・日本人出国者数の推移

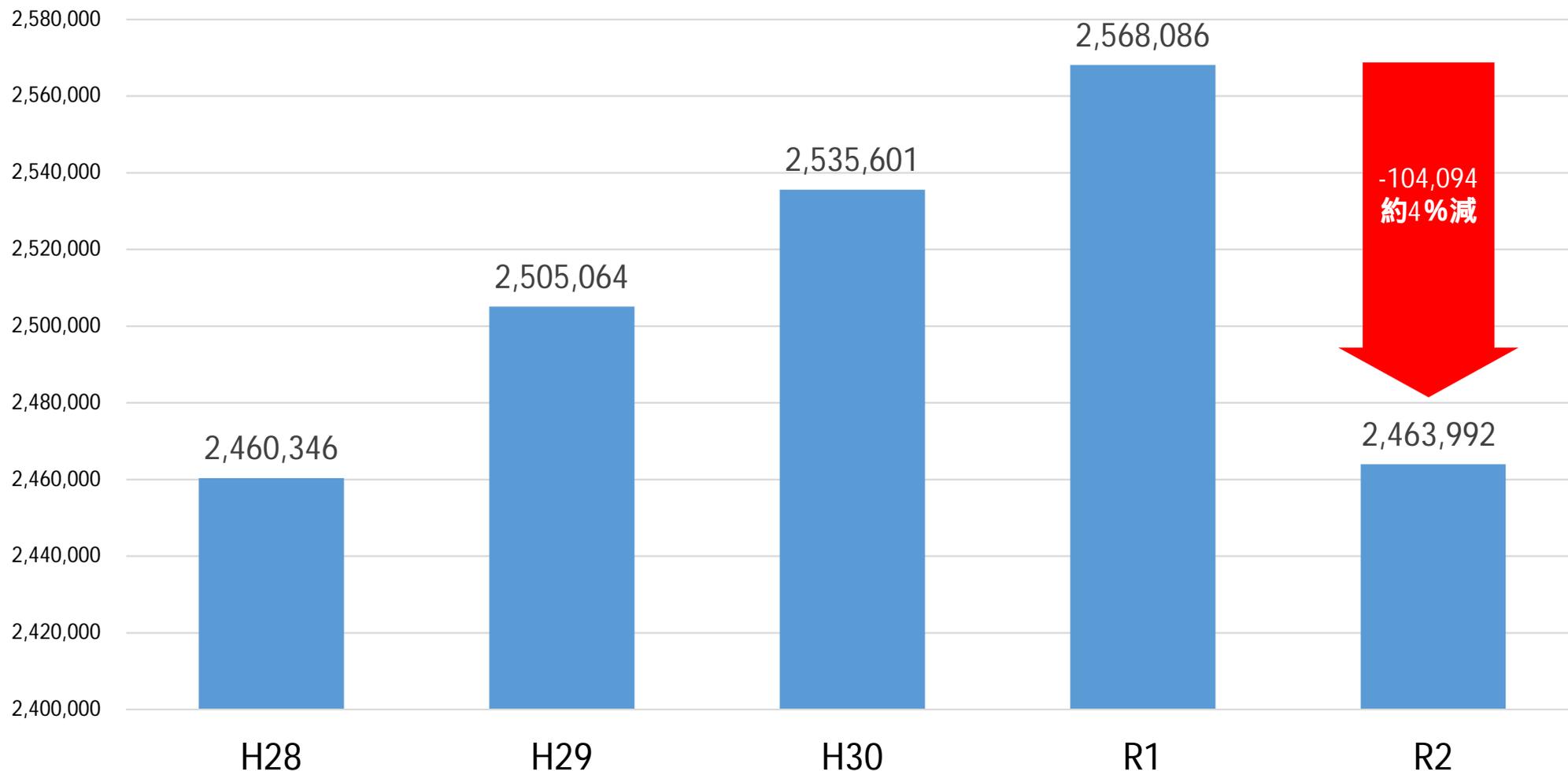


【出典】出入国在留管理統計料

3 コロナ禍の動向分析 国内の都道府県間移動者数推移

- ・コロナ禍で都道府県をまたぐ移動（転居）は減少している。

都道府県間移動者数（平成28年～令和2年）

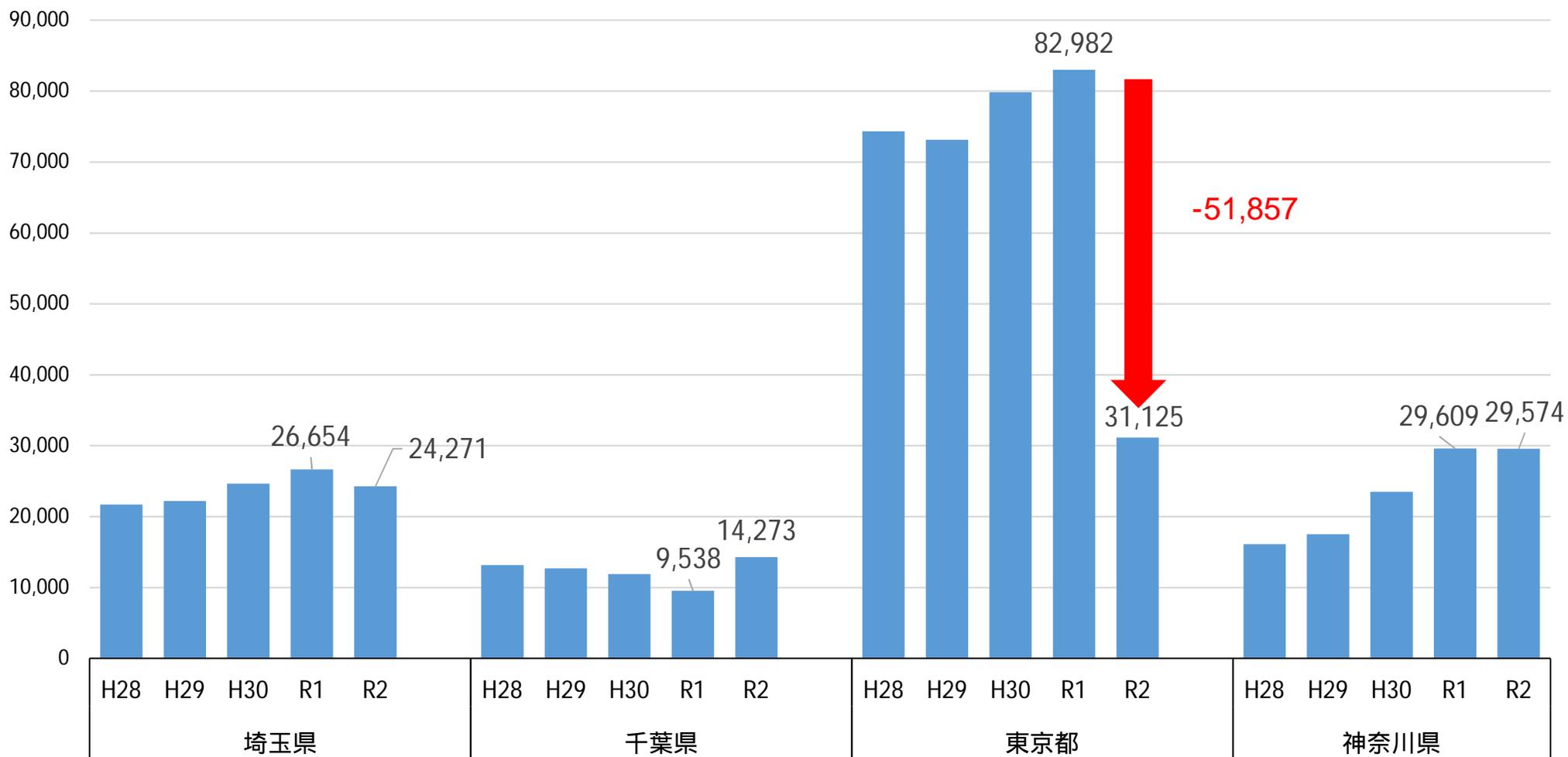


【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

3 コロナ禍の動向分析 東京圏の転入超過数の推移

・埼玉県・千葉県・神奈川県に大きな変動は無い一方で、東京都は大きく減少している。

一都三県の転入超過数推移（平成28～令和2年）

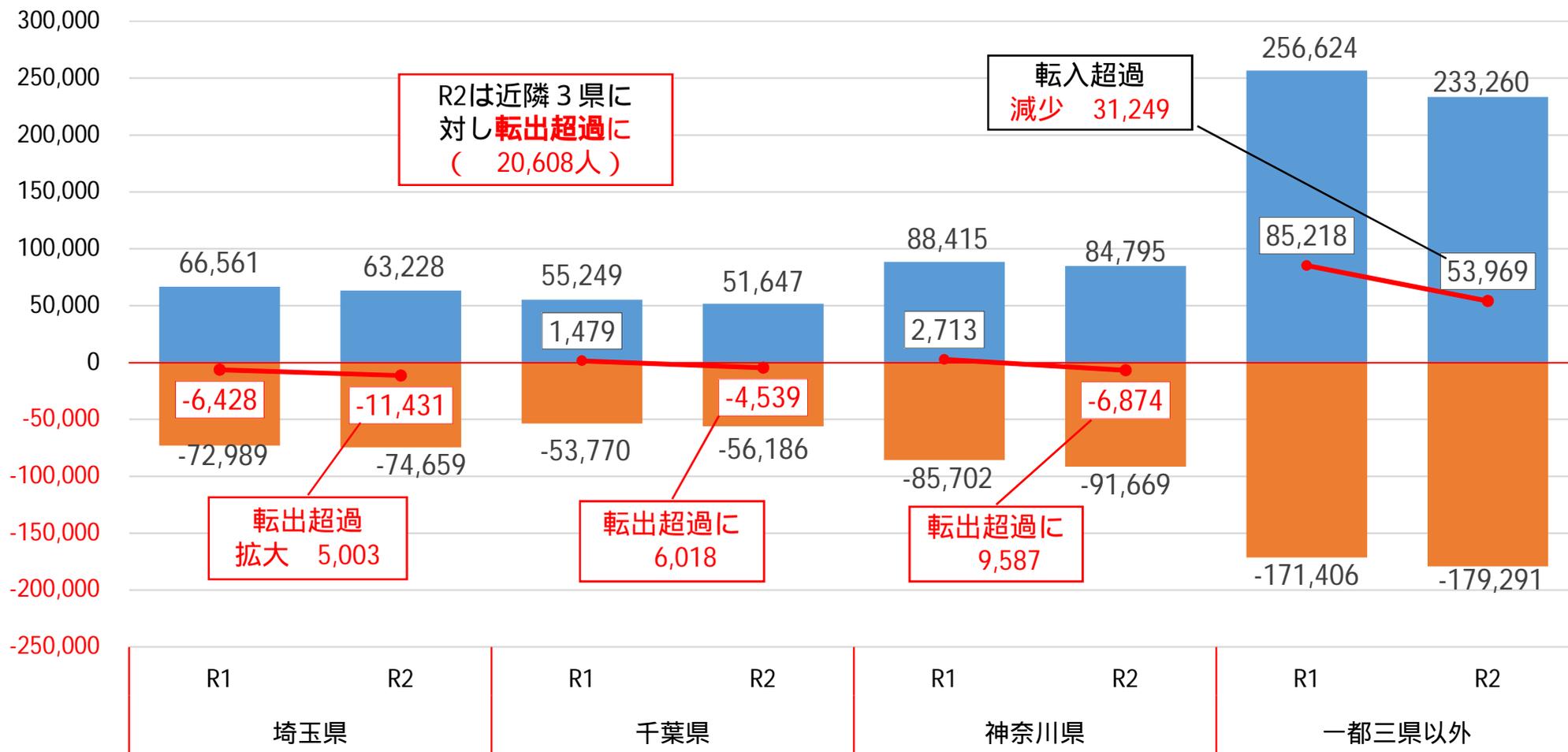


【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」¹⁴

3 コロナ禍の動向分析 東京都の転出入先

・東京圏（埼玉県・千葉県・神奈川県）外から都への流入が減り、都から東京圏内への流出が増。

東京都 転入者数・転出者数・転入超過数比較（令和元年・2年）

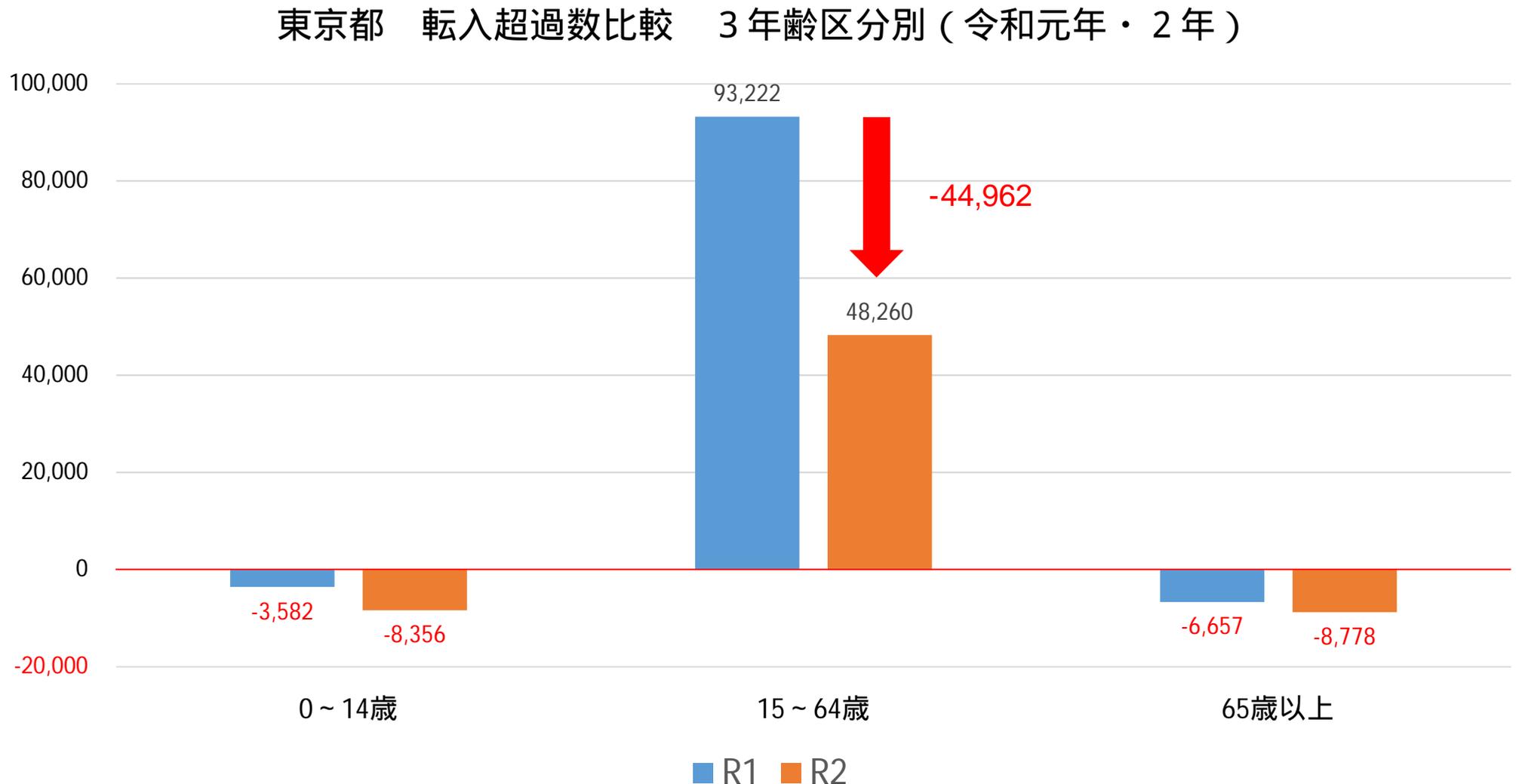


■ 転入者数 ■ 転出者数（符号逆転） ● 転入超過数

【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

3 コロナ禍の動向分析 東京都の転入超過数（3年齢区分別）

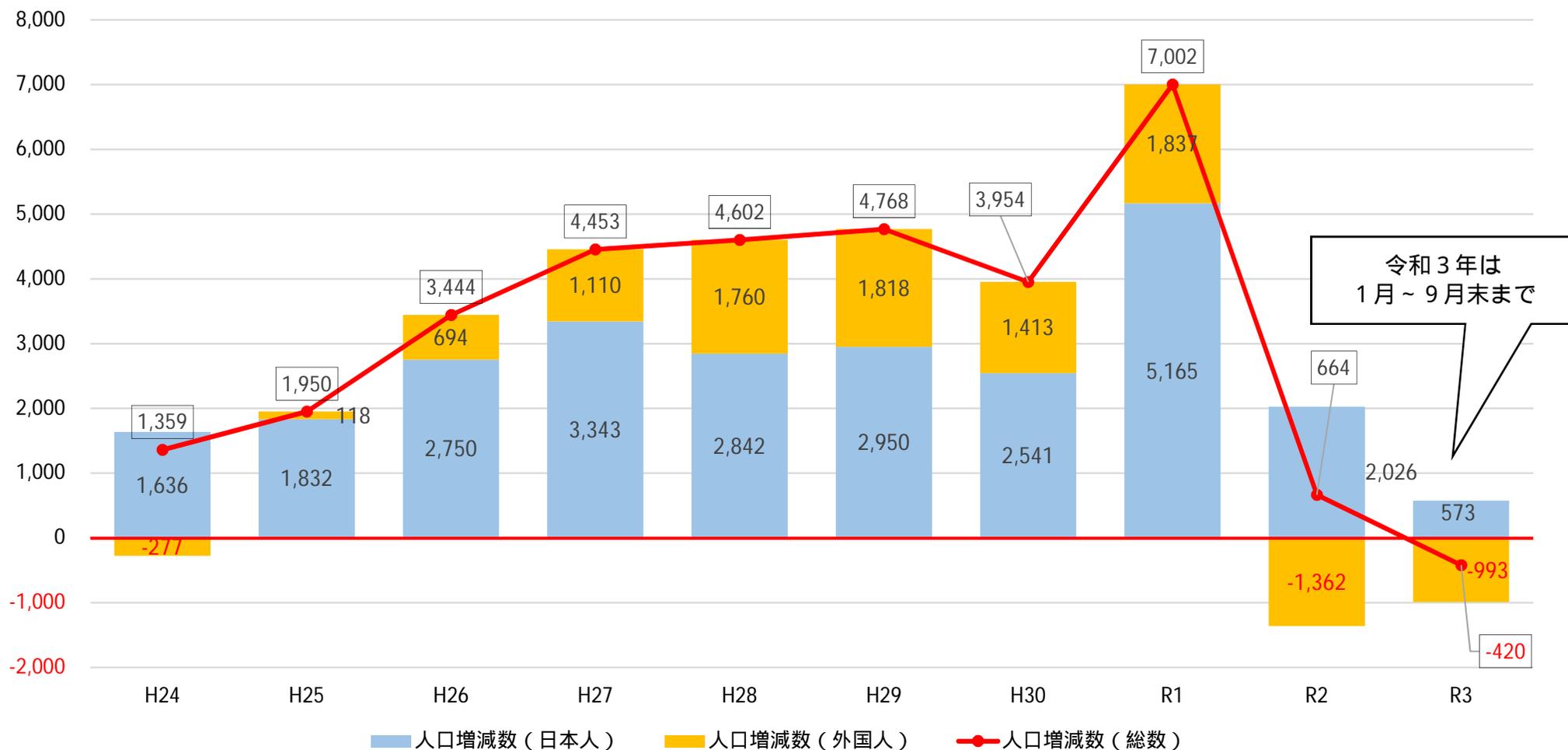
・転入超過数の減少は、生産年齢人口の減少による影響が大きい。



3 コロナ禍の動向分析 区の人口増減推移

・コロナ禍で人口増加数は減少。令和3年は10月1日時点で人口減に。

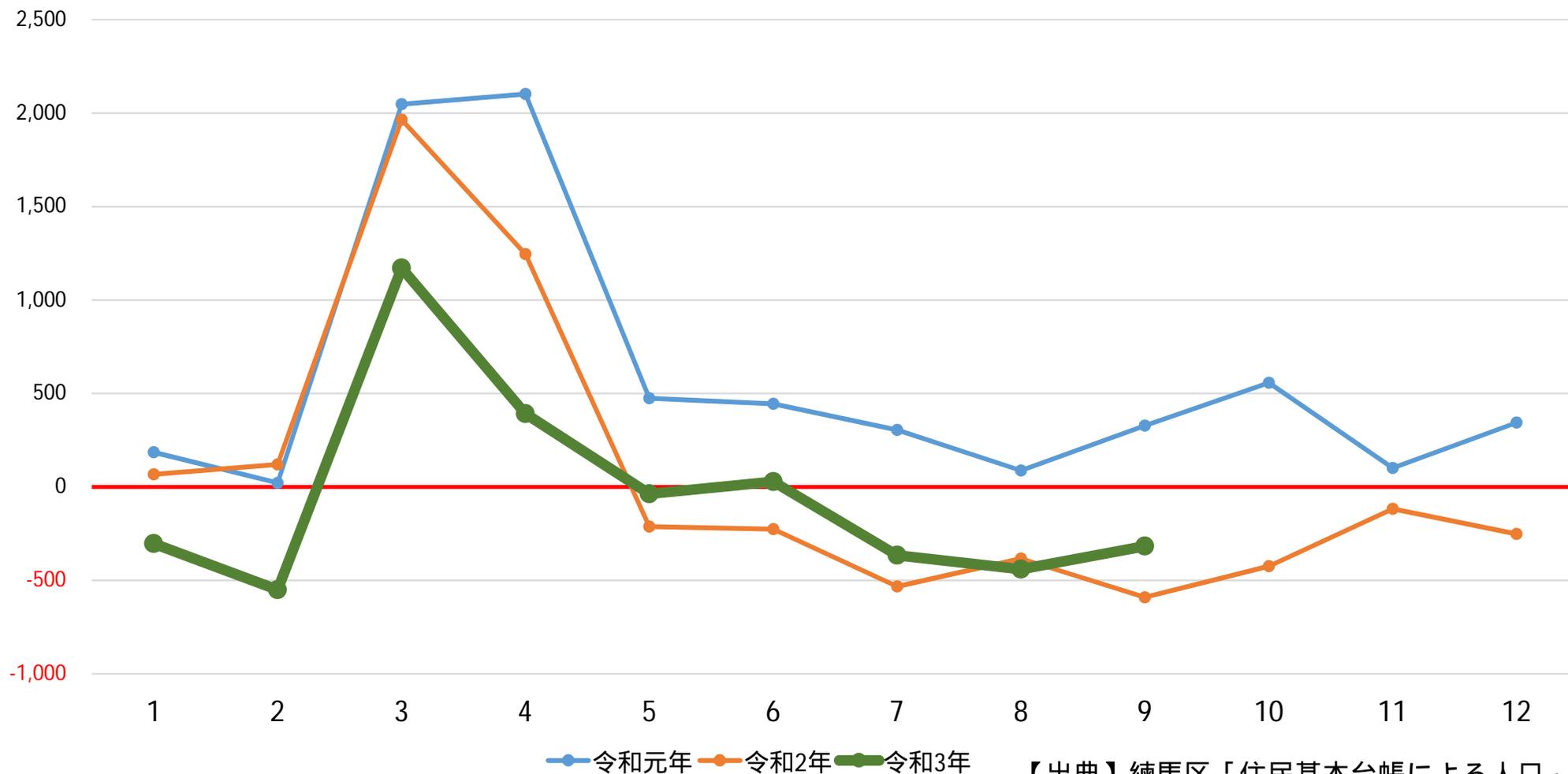
区の年間人口増減



3 コロナ禍の動向分析 区の人口増減 各月推移

- ・ 例年、3月・4月の転入超過により人口は大幅に増加し、その後も微増が続く傾向。令和3年は3・4月の人口増も例年より少なく、その後も減少傾向。年間で人口減に転じる可能性も。

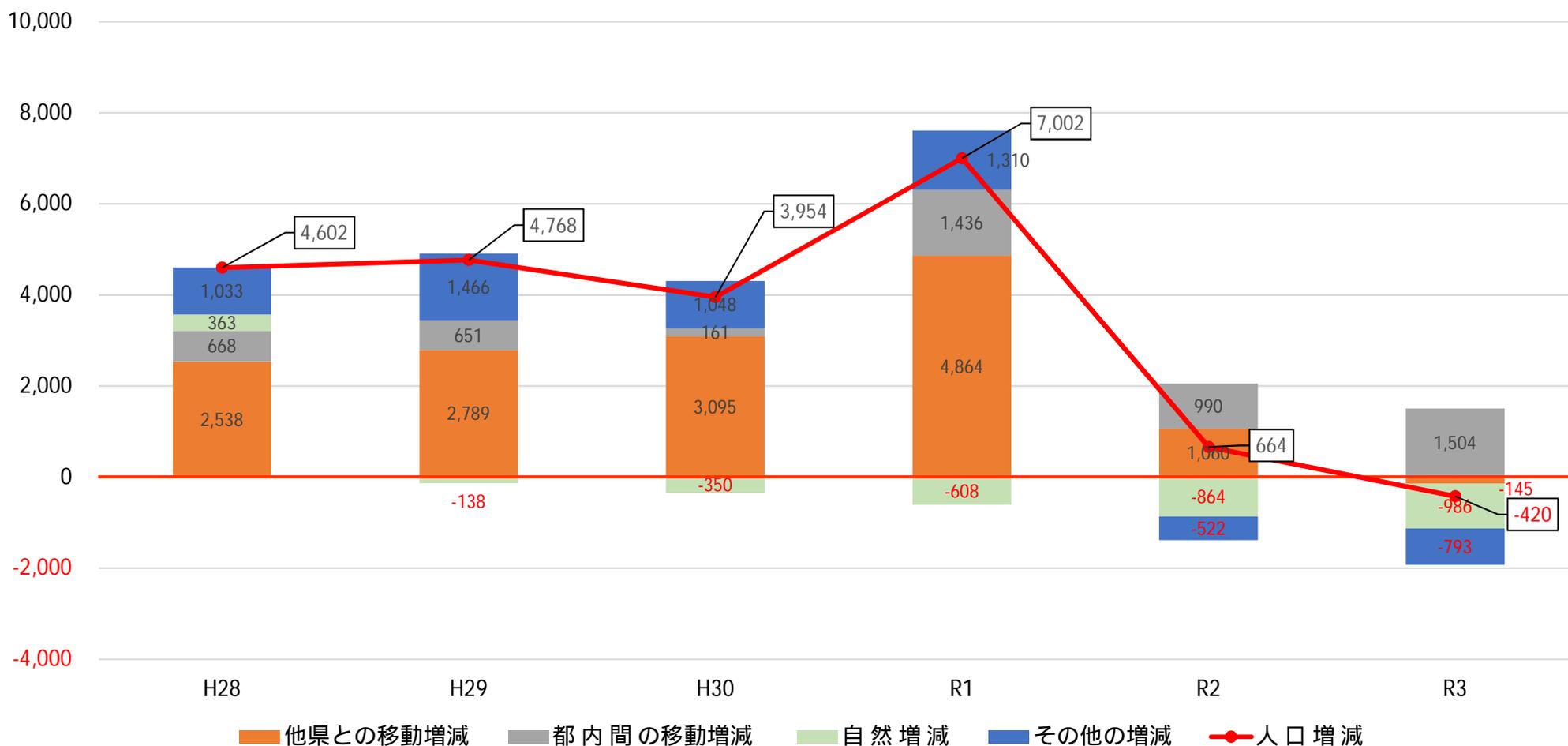
区の人口増減 各月推移



3 コロナ禍の動向分析 区の人口増減の要因別推移

- ・ コロナ禍で他県からの転入（オレンジ）が大きく減少。
- ・ 一方で都内間移動（グレー）は大きな変動が無い。

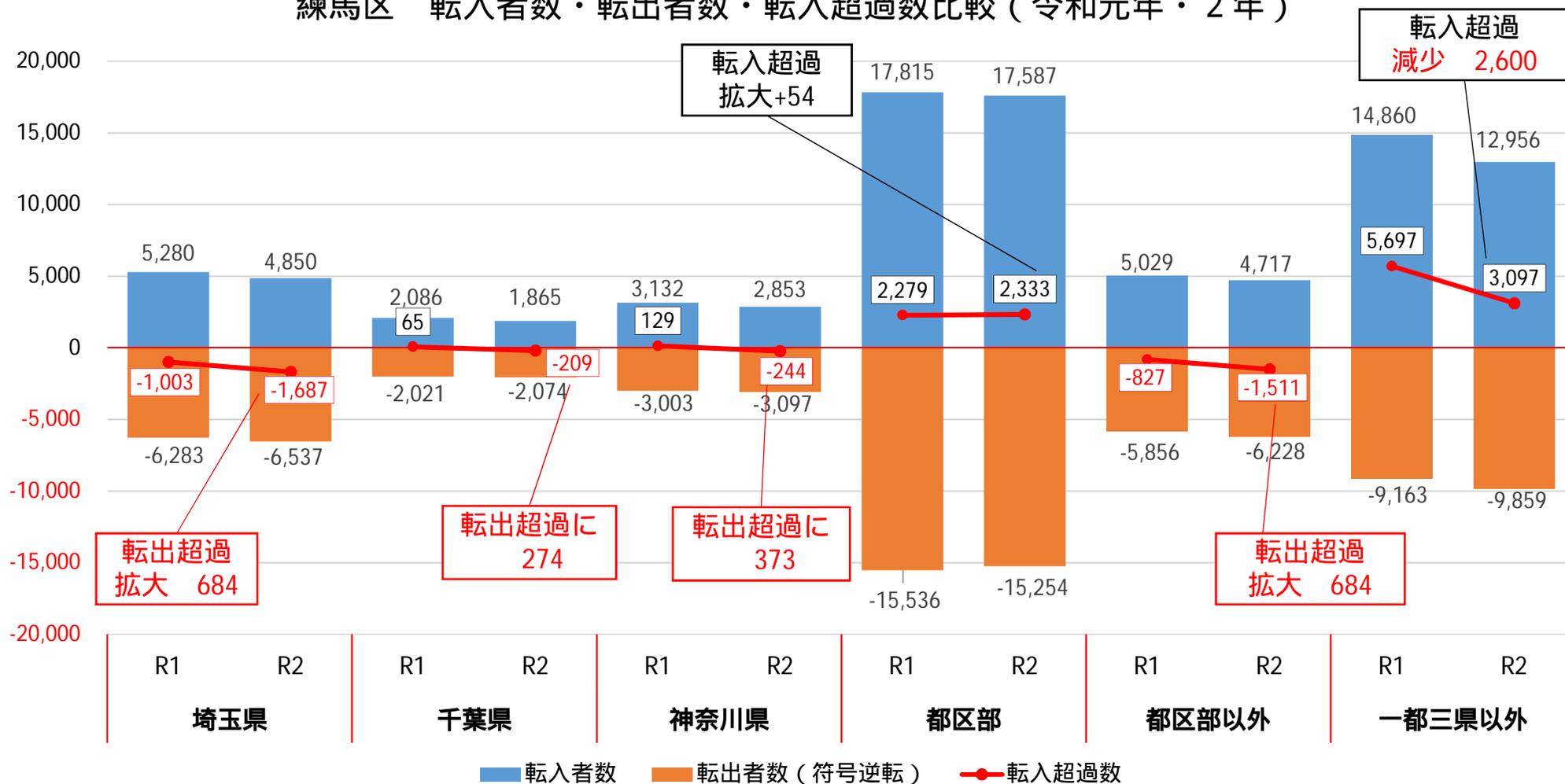
区 人口増減の要因別推移（令和3年は1月から9月）



3 コロナ禍の動向分析 区の転出入先

- 都区部からの流入は増えたが、区から東京圏内への流出が増。

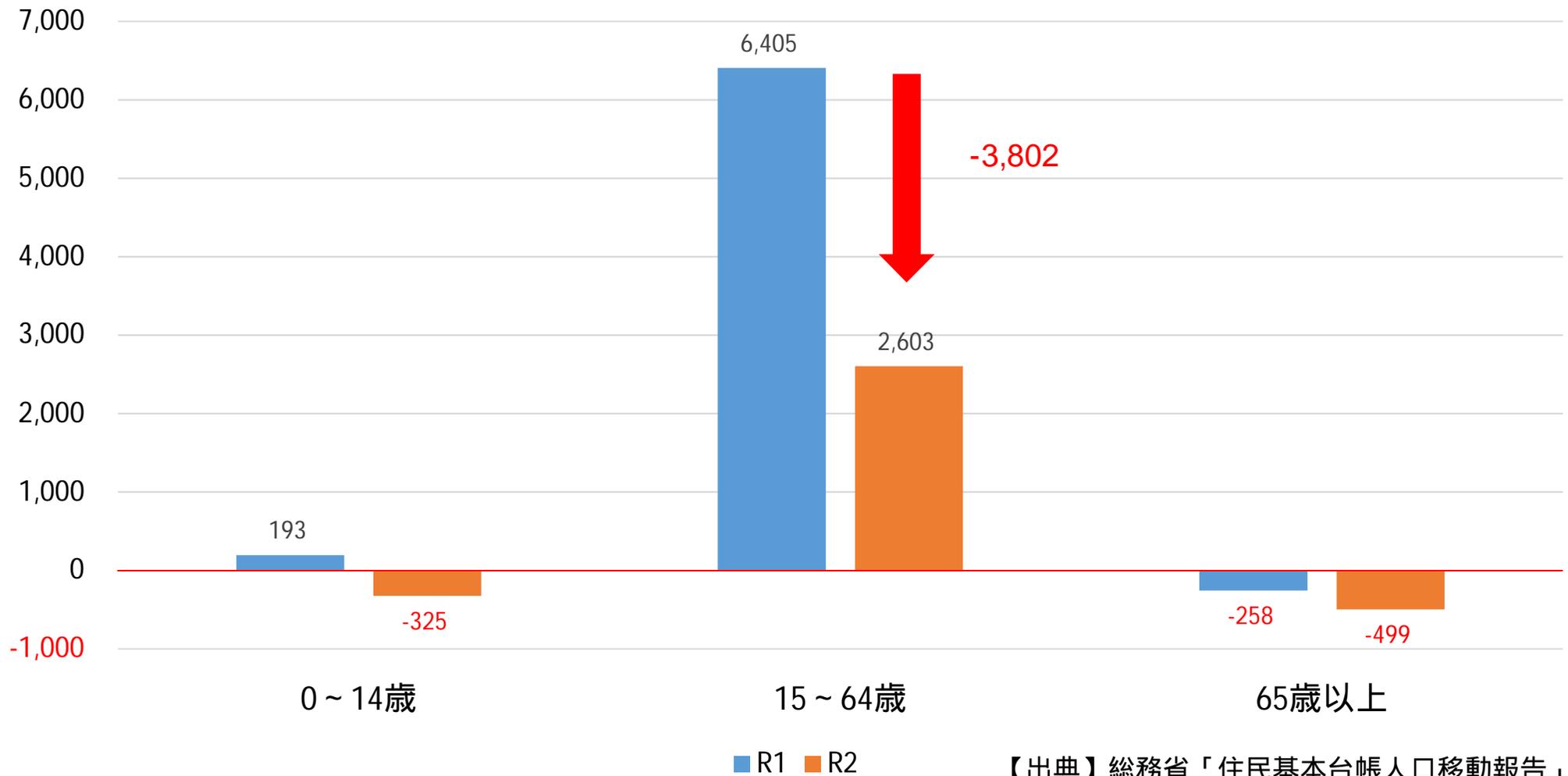
練馬区 転入者数・転出者数・転入超過数比較（令和元年・2年）



3 コロナ禍の動向分析 練馬区の転入超過数（3年齢区分別）

- 東京都同様に、転入超過数の減少は、生産年齢人口の減少による影響が大きい。

練馬区 転入超過数比較 3年齢区分別（令和元年・2年）



人口動向の変化による区政への影響

- ・区ではこれまで、一貫して人口増が続いてきた。今後も、大江戸線の延伸など都市インフラの整備が進み、利便性が向上することなどにより、人口が増加する余地が大きく残されている。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、出生数、外国人人口、社会移動などの人口動態に様々な変化が生じている。区の人口増を支えてきた他道府県等からの転入や外国人の転入のいずれもが大幅に減少したことで、令和3年は人口減に転ずる可能性がある。
- ・一方、コロナ禍での働き方の変化などにより、東京圏から大規模な人口流出が起こりうるような報道もされていたが、実際にはそこまでの大きな変動は表れていない。
- ・コロナ禍による人口動向の変化が一時的なものなのか、長期的なものなのか、区政にどのような影響を与えるのか現段階で見極めることは困難。今後の動向を注視していく必要がある。